

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月30日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,710	0.4	1,590	7.5	1,647	6.9	794	3.2
2019年3月期	32,591	2.8	1,479	55.2	1,541	54.0	769	47.0

(注) 包括利益 2020年3月期 946百万円 (9.6%) 2019年3月期 863百万円 (34.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	53.58	—	7.3	6.7	4.9
2019年3月期	51.91	—	7.4	6.1	4.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	23,991	12,823	46.6	753.77
2019年3月期	25,269	12,978	41.9	714.40

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,180百万円 2019年3月期 10,596百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,960	△599	△2,501	2,835
2019年3月期	2,192	△850	△866	3,976

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	177	23.1	1.7
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	148	18.7	1.4
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		17.5	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,400	0.1	1,150	0.7	1,180	0.3	620	1.6	41.80
通期	33,000	0.9	1,600	0.6	1,650	0.2	850	7.0	57.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期:	15,180,000株	2019年3月期:	15,180,000株
2020年3月期:	347,124株	2019年3月期:	347,124株
2020年3月期:	14,832,876株	2019年3月期:	14,832,876株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	12,454	1.1	556	△8.1	587	△8.4	341	△29.0
2019年3月期	12,318	△0.7	605	△11.0	641	△10.7	480	2.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	23.00	—
2019年3月期	32.38	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	11,382		8,764		77.0		590.91	
2019年3月期	11,391		8,634		75.8		582.11	

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,764百万円 2019年3月期 8,634百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっては、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費増税による消費の冷え込みに加え、新型コロナウイルスの世界的な流行拡大からインバウンド消費が急減し、外出の自粛により宿泊・飲食サービスなどの対個人サービスが大幅に悪化しました。東京オリンピック・パラリンピックの開催延期等による経済活動の低迷は、リーマンショックを超えるものとなっております。新型コロナウイルスも感染拡大は長期化する恐れがあり、世界的な景気後退が懸念されております。

住宅業界におきましては、金融機関のアパートローン審査の厳格化により貸家の減少基調が続いており、消費増税の影響もあって住宅投資は弱い動きとなっております。先行きは、新型コロナウイルスの影響で工期の遅延や住宅展示場のイベント自粛が発生しており、住宅投資全般が下振れする見通しであります。

個人消費は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、幅広い業態で休業や時短営業が本格化しており、首都圏を中心に外出を自粛する動きも強まっており、大幅な下振れが避けられない状況であります。

このような状況のもと、当社グループでは、オリジナルプライベート商品などの新商品開発への積極的な取り組みと、顧客サービスの強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高327億10百万円（前連結会計年度比0.4%増）、営業利益15億90百万円（同7.5%増）、経常利益16億47百万円（同6.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億94百万円（同3.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

2019年度2月累計の全国における新設住宅着工戸数は812,958戸（前年同期比7.2%減）、当社の主力市場である北海道で30,134戸（同9.6%減）と前年を下回る水準で推移しております。その中で当社の業績に大きく影響を及ぼす持家は、全国で261,011戸（前年同期比1.6%減）、北海道で10,930戸（同0.2%増）と、北海道の実績は前年を上回っております。

このような状況のもと、営業店支援のための提案型モデル住宅「Skogのいえ」の全国展開とその商品群のブランド化を進め、自然素材の輸入関連商品、床下冷暖房システム「Air Volley」などの新商品開発と販売強化に努めてまいりました。しかしながら、今年度は本社移転に係る諸費用、Windows 7サポート切れに伴うパソコン入替費用など一過性の費用発生があり、売上高114億80百万円（前連結会計年度比1.7%減）、営業利益8億37百万円（同5.2%減）となりました。

(小売事業)

ホームセンター業界においては、同業他社、他業種との競争の激化が続いており、依然として厳しい経営環境にあります。このような状況のもと、お客様満足度の向上と接客力の強化に努め、また適正価格での販売と経費削減による収益面の改善を図ってまいりました。これらの結果、売上高184億77百万円（前連結会計年度比0.0%増）、営業利益8億44百万円（同23.4%増）となりました。

(不動産事業)

前年度に行った既存賃貸建物の建て替えによる収入増とホームセンターへの新テナント入居により、売上高3億39百万円（前連結会計年度比36.8%増）、営業利益2億35百万円（同39.9%増）となりました。

(足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費節減に努めておりますが、今年度は安全衛生管理の観点から現場作業人員の班構成見直しを行い、売上高9億18百万円（前連結会計年度比11.8%減）、営業損失6百万円となりました。

(サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めており、売上高14億94百万円（前連結会計年度比30.3%増）、営業利益80百万円（同255.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は88億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億71百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が11億40百万円減少したことによるものであります。固定資産は151億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億45百万円、投資有価証券が68百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は239億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億78百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は63億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億11百万円減少いたしました。これは主に仕入債務が52百万円、未払法人税等が87百万円増加し、短期借入金が5億46百万円減少したことによるものであります。固定負債は48億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が8億26百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は111億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億23百万円減少いたしました。

(純資産)

連結会計年度末における純資産合計は128億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少いたしました。これは主にその他の包括利益累計額が1億22百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.6%（前連結会計年度末は41.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当連結会計年度末には28億35百万円となり、前連結会計年度末より11億41百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は19億60百万円（前連結会計年度は21億92百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が15億85百万円、減価償却費が7億13百万円及び、法人税等の支払額5億96百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は5億99百万円（前連結会計年度は8億50百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入4億85百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出10億31百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は25億1百万円（前連結会計年度は8億66百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済による支出13億72百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出9億23百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

各事業別分野における施策は以下の通りです。

卸売事業において、次期の住宅市場は新型コロナウイルス感染拡大の影響から大きく下振れする懸念があります。そのような環境において、オリジナル提案型住宅「Skogのいえ」の推進によりキムラブランドの確立を目指し、当社オリジナル商品の販売拡大を図ります。

小売事業において、個人消費にも新型コロナウイルス感染拡大の影響は出てくるものと思われま。消費者の節約志向は強く、また業態を越えた販売競争もあって経営環境は厳しい状況が続いております。その中において、適正な販売価格の設定と在庫のコントロールによる値下げ販売を抑制し、適正な利益を追求してまいります。また、育成、教育プログラムを策定し、学べる成長できる社内環境づくりを行い、CS強化に取り組みます。ペット専門店の展開、新規部門の開発などを行い、持続的な成長ができる体質を目指してまいります。

不動産事業においては、不動産動向の情報収集を行うとともに、所有不動産を活性化させて収益確保を目指してまいります。

足場レンタル事業においては、安定的な資材の入れ替えとメンテナンスを継続することで、お客様へ安心、安全を提供し更なる事業拡大に努めてまいります。また、施工の標準化と技術指導、安全パトロールを強化して施工力の向上を図ります。

サッシ・ガラス施工事業においては、キムラグループとしてのシナジー効果を十分に発揮し、業容拡大を図ってまいります。

以上により次期の業績見通しは売上高330億円(当連結会計年度比0.9%増)、営業利益16億円(同0.6%増)、経常利益16億50百万円(同0.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円(同7.0%増)と増収増益の見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,988,123	2,847,234
受取手形及び売掛金	2,348,410	2,316,934
電子記録債権	121,232	145,745
商品	3,209,880	3,304,690
販売用不動産	82,029	67,429
その他のたな卸資産	29,377	27,417
その他	135,296	139,993
貸倒引当金	△10,316	△17,392
流動資産合計	9,904,034	8,832,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,895,862	7,846,086
土地	2,932,723	2,791,990
賃貸用建物(純額)	664,618	620,990
賃貸用その他資産(純額)	38,827	34,623
賃貸用土地	1,483,266	1,452,416
リース資産(純額)	57,839	56,812
建設仮勘定	2,808	79,742
その他(純額)	218,654	266,038
有形固定資産合計	13,294,599	13,148,701
無形固定資産		
のれん	206,830	155,122
その他	125,498	147,679
無形固定資産合計	332,328	302,801
投資その他の資産		
投資有価証券	737,249	668,854
長期貸付金	17,545	9,837
繰延税金資産	448,859	493,993
その他	552,824	553,538
貸倒引当金	△17,519	△18,286
投資その他の資産合計	1,738,958	1,707,936
固定資産合計	15,365,887	15,159,440
資産合計	25,269,921	23,991,492

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,286	1,739,825
電子記録債務	439,594	376,483
短期借入金	3,322,700	2,776,100
リース債務	23,638	21,766
未払法人税等	352,833	440,582
賞与引当金	153,265	162,266
その他	714,945	802,561
流動負債合計	6,631,263	6,319,584
固定負債		
長期借入金	4,251,100	3,425,000
リース債務	34,201	35,046
繰延税金負債	14,254	17,121
再評価に係る繰延税金負債	203,358	164,277
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	241,918	267,432
資産除去債務	322,118	327,689
その他	564,448	583,128
固定負債合計	5,660,410	4,848,705
負債合計	12,291,673	11,168,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,427
利益剰余金	8,737,644	9,443,860
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	10,232,560	10,938,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,021	160,328
土地再評価差額金	171,061	81,585
その他の包括利益累計額合計	364,083	241,914
非支配株主持分	2,381,604	1,642,584
純資産合計	12,978,247	12,823,201
負債純資産合計	25,269,921	23,991,492

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	32,591,132	32,710,243
売上原価	23,999,071	23,872,400
売上総利益	8,592,060	8,837,843
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	295,054	304,275
従業員給料及び賞与	2,881,065	2,976,304
賞与引当金繰入額	151,855	162,266
退職給付費用	31,358	44,089
減価償却費	636,774	641,590
その他	3,116,541	3,119,156
販売費及び一般管理費合計	7,112,649	7,247,681
営業利益	1,479,411	1,590,161
営業外収益		
受取利息	2,837	2,556
受取配当金	16,219	17,284
仕入割引	80,939	80,755
その他	80,306	67,582
営業外収益合計	180,302	168,178
営業外費用		
支払利息	32,034	25,500
売上割引	79,190	77,641
その他	7,392	7,909
営業外費用合計	118,617	111,051
経常利益	1,541,095	1,647,289
特別利益		
固定資産売却益	6,273	296,597
受取保険金	16,045	—
特別利益合計	22,319	296,597
特別損失		
固定資産除売却損	27,065	627
固定資産圧縮損	—	339,346
投資有価証券評価損	—	18,690
災害による損失	17,013	—
特別損失合計	44,079	358,664
税金等調整前当期純利益	1,519,335	1,585,222
法人税、住民税及び事業税	546,264	672,217
法人税等調整額	△36,174	△66,634
法人税等合計	510,090	605,583
当期純利益	1,009,244	979,639
非支配株主に帰属する当期純利益	239,266	184,905
親会社株主に帰属する当期純利益	769,978	794,734

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,009,244	979,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,628	△33,138
その他の包括利益合計	△145,628	△33,138
包括利益	863,615	946,500
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	624,193	762,041
非支配株主に係る包括利益	239,422	184,459

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,500	8,115,995	△132,934	9,610,910
当期変動額					
剰余金の配当			△148,328		△148,328
親会社株主に帰属する 当期純利益			769,978		769,978
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	621,649	—	621,649
当期末残高	793,350	834,500	8,737,644	△132,934	10,232,560

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	338,806	171,061	509,868	2,142,181	12,262,960
当期変動額					
剰余金の配当					△148,328
親会社株主に帰属する 当期純利益					769,978
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△145,785	—	△145,785	239,422	93,637
当期変動額合計	△145,785	—	△145,785	239,422	715,287
当期末残高	193,021	171,061	364,083	2,381,604	12,978,247

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,500	8,737,644	△132,934	10,232,560
当期変動額					
剰余金の配当			△177,994		△177,994
親会社株主に帰属する 当期純利益			794,734		794,734
非支配株主との取引に係る親 会社の持分変動		△72			△72
土地再評価差額金の取崩			89,475		89,475
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△72	706,215	—	706,142
当期末残高	793,350	834,427	9,443,860	△132,934	10,938,702

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	193,021	171,061	364,083	2,381,604	12,978,247
当期変動額					
剰余金の配当					△177,994
親会社株主に帰属する 当期純利益					794,734
非支配株主との取引に係る親 会社の持分変動					△72
土地再評価差額金の取崩					89,475
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△32,692	△89,475	△122,168	△739,019	△861,188
当期変動額合計	△32,692	△89,475	△122,168	△739,019	△155,045
当期末残高	160,328	81,585	241,914	1,642,584	12,823,201

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,519,335	1,585,222
減価償却費	707,568	713,303
のれん償却額	51,707	51,707
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,868	9,001
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24,906	7,842
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,207	25,513
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,720	—
受取利息及び受取配当金	△19,056	△19,841
支払利息	32,034	25,500
投資有価証券売却損益(△は益)	—	375
投資有価証券評価損益(△は益)	—	18,690
有形固定資産除売却損益(△は益)	20,792	△295,970
受取保険金	△16,045	—
災害損失	17,013	—
固定資産圧縮損	—	339,346
売上債権の増減額(△は増加)	172,761	6,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	154,886	△78,249
その他の資産の増減額(△は増加)	51,567	683
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,399	52,427
未払消費税等の増減額(△は減少)	△256,415	80,443
その他の負債の増減額(△は減少)	272,716	39,801
小計	2,599,915	2,561,965
利息及び配当金の受取額	19,055	19,840
利息の支払額	△32,225	△25,721
保険金の受取額	16,045	—
災害損失の支払額	△17,013	—
法人税等の支払額	△393,313	△596,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,192,464	1,960,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△420	△410
有形固定資産の取得による支出	△1,047,126	△1,031,755
有形固定資産の売却による収入	243,219	485,893
無形固定資産の取得による支出	△19,025	△62,467
有形固定資産の除却による支出	△26,355	—
投資有価証券の取得による支出	△4,429	△4,561
投資有価証券の売却による収入	—	1,037
投資有価証券の償還による収入	—	5,000
貸付けによる支出	△3,300	△710
貸付金の回収による収入	6,951	8,418
出資金の払込による支出	△150	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△850,636	△599,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△993,631	△922,700
配当金の支払額	△148,043	△177,604
リース債務の返済による支出	△24,327	△27,955
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△923,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△866,001	△2,501,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	475,826	△1,141,300
現金及び現金同等物の期首残高	3,500,873	3,976,700
現金及び現金同等物の期末残高	3,976,700	2,835,399

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「卸売事業」、「小売事業」、「不動産事業」、「足場レンタル事業」及び「サッシ・ガラス施工事業」の5つを報告セグメントとしております。

「卸売事業」は、住宅用資材及びビル用資材等の販売を行っております。「小売事業」は、建築資材、DIY用品、日用雑貨等の販売を行うホームセンターを運営しております。「不動産事業」は、不動産の賃貸及び販売を行っております。「足場レンタル事業」は、建築足場のレンタルを行っております。「サッシ・ガラス施工事業」は、アルミサッシなどのガラス製品の販売、加工及び施工を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	11,683,151	18,472,004	247,998	1,041,370	1,146,607	32,591,132
セグメント間の 内部売上高又は振替高	460,355	4,552	53,456	1,060	21,713	541,138
計	12,143,506	18,476,556	301,454	1,042,431	1,168,321	33,132,271
セグメント利益	883,687	684,633	168,568	48,287	22,579	1,807,757
セグメント資産	3,455,046	13,595,263	2,613,095	837,154	771,544	21,272,104
その他の項目						
減価償却費	29,133	543,166	75,835	10,701	15,643	674,481
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	18,230	387,348	587,005	54,082	7,834	1,054,501

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	11,480,957	18,477,446	339,359	918,076	1,494,403	32,710,243
セグメント間の 内部売上高又は振替高	459,819	5,290	41,562	844	52,508	560,024
計	11,940,777	18,482,737	380,921	918,920	1,546,912	33,270,268
セグメント利益 又は損失(△)	837,901	844,607	235,826	△6,481	80,267	1,992,122
セグメント資産	3,460,598	13,276,485	2,579,409	767,421	773,111	20,857,026
その他の項目						
減価償却費	29,493	563,104	73,013	20,056	15,189	700,857
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	376,433	416,864	85,216	115,096	2,384	995,994

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,132,271	33,270,268
セグメント間取引消去	△541,138	△560,024
連結財務諸表の売上高	32,591,132	32,710,243

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,807,757	1,992,122
セグメント間取引消去	6,764	3,058
全社費用(注)	△335,110	△405,019
連結財務諸表の営業利益	1,479,411	1,590,161

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	21,272,104	20,857,026
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△90,663	83,523
全社資産(注)	4,088,480	3,050,942
連結財務諸表の資産合計	25,269,921	23,991,492

(注)全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券及び有形固定資産であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	674,481	700,857	33,087	12,445	707,568	713,303
特別損失	—	—	—	—	—	—
(減損損失)	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,054,501	995,994	8,500	94,231	1,063,001	1,090,225

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル事業	サッシ・ガラス施工事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	15,600	36,106	—	51,707
当期末残高	—	—	—	62,402	144,427	—	206,830

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル事業	サッシ・ガラス施工事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	15,600	36,106	—	51,707
当期末残高	—	—	—	46,801	108,320	—	150,122

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	714.40円	753.77円
1株当たり当期純利益	51.91円	53.58円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	769,978	794,734
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	769,978	794,734
期中平均株式数(株)	14,832,876	14,832,876

(重要な後発事象)

該当事項はありません。